

平成24年12月16日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

①

石川県第一区

石川県選挙管理委員会

自民党型の古い政治に「ノー」の審判を！

国民が
主人公の

希望ある新しい政治へ

私が訴えていると、「民主党に失望」、「民自公が決めた年金切り下げ、消費税増税はとんでもない」と怒る声が返ってきます。被災者への復興財源を流用する、その一方で庶民に大增税を押しつけて、政党助成金年320億円廃止には指一本触れません。

今度こそ、60年続いた自民党型政治を退場させて、希望ある新しい政治の実現に全力を尽くします。

「政治を変えたい」との思いを、黒崎きよのりと日本共産党に託してください。



プロフィール

- 1948年七尾市生まれ
- 県立羽咋工業高卒、東京都職員。
- 党石川県常任委員などを歴任。
- 現在、金沢地区委員長
- 趣味 山歩き、映画鑑賞。

黒崎きよのり

私のお約束

- 消費税増税実施中止、雇用・くらしを守ります
 - 安心・安全な金沢へ
「原発即時ゼロ」「志賀原発廃炉」をめざします
 - 国のかたちを変える TPP断固阻止！
食料・経済主権を守り、地域農業を再生し、農地を保全します
- みなさんの願い実現へ 力をあわせてがんばります

「財界中心」「アメリカいいなり」政治を断ち切る “本物の改革”

提案し、行動する。

日本共産党の4つの改革ビジョン

私たちはこんな日本をつくります

ビジョン 1 経済 デフレ不況脱却へ
消費増税中止 国民の所得増を

新しい国会で、消費増税中止法案を提出し、成立のために全力をあげます。大企業の内部留保260兆円を雇用や中小企業に還元し、国民の所得を増やして内需を拡大します。

ビジョン 2 原発 「即時原発ゼロ」は
現実的に可能です

「猛暑の夏」を原発なしで乗り切りました。再生可能エネルギーへの転換で、雇用を増やし、地域経済を活性化します。

ビジョン 3 外交 TPP反対 オスプレイ「ノー」
安保なくし対等の日米関係へ

米軍基地の重圧から国民を解放し、日本を憲法9条生かした“平和の発信地”に。

ビジョン 4 領土 尖閣、竹島は日本の領土
正当性を堂々と主張し、解決を

千島問題でも…択捉、国後の南千島はもちろん、千島列島全体が日本領——これが日本共産党の立場です。

党をつかって90年。政治にスジを通す
試された日本共産党を伸ばしてください

比例
代表は

日本共産党

とお書き
ください

一票は
想いのこもった
メッセージ

投票日は**12月16日(日)** 投票時間は午前**7時**から午後**8時**まで

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは市選挙管理委員会までお問い合わせください。

平成 24 年 12 月 16 日 執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

②

石川県第一区
石川県選挙管理委員会

政権リセット! はせ浩は日本を、立て直します。

法案策定中 日本経済再生・競争力強化法

デフレ脱却! 名目3%成長を目指します。

- ▶ 今後5年を、集中改革期間と設定
- ▶ 「貿易立国」、「産業投資立国」を経済モデルに設定
- ▶ 法人税率引下げ等の制度の国際水準化と、産業再編
- ▶ 成長分野を特定し、税財政や金融の政策を集中投下

6月4日、衆議院に提出 国土強靱化基本法

巨大地震に備え、命を守る公共事業を充実させます。

- ▶ 防災安全国家の実現、10年間で100兆円以上投資
- ▶ 大規模自然災害の被害を最小化するハードとソフトを組み合わせた「強くてしなやかな国土づくり」
- ▶ 新「日本海国土軸構想」。都市・経済機能の分散・移転と企業の日本海側移転支援

6月26日、衆議院で修正可決 社会保障制度改革推進法等

努力が報われる社会保障と子育て支援を充実させます。

- ▶ 年金・医療・介護の安定化。消費税は全てその財源に
- ▶ 年少扶養控除の復活
- ▶ 幼・保を守り、認定こども園拡充
- ▶ 幼児教育・子どもの医療費の無料化
- ▶ 「放課後児童クラブ」の公的支援法

4月27日/7月6日決定・公表 憲法改正草案・国家安全保障基本法

憲法を改正し、独立・自衛国家を確立します。

- ▶ 自衛権の保有、国防軍の保持を明記
- ▶ 自衛権の行使は「必要最小限度」とする
- ▶ 国際情勢の変化に合わせ、集団的自衛権の一部行使
- ▶ 尖閣・竹島等領土の保全対策
- ▶ 緊急事態条項の新設
- ▶ 関連法案として、国際平和協力(PKO)法案なども整備

文部科学大臣を目指す馳の教育政策

3つの「立国」で、子供の未来に責任を持ちます。

教育立国

- ▶ 日本人の価値観に合った、誇りを持てる教育の実践
- ▶ 学力と道徳力の「学徳両道」の形成
- ▶ 一人ひとりを大切に特別支援教育の充実

科学技術立国

- ▶ 世界最先端の研究開発拠点の形成
- ▶ iPS細胞、炭素繊維、リチウムイオン電池等の開発支援

スポーツ立国

- ▶ 2020年東京オリンピック招致
- ▶ スポーツ庁を設置して、スポーツ予算の集中管理とスポーツ施設の拡充

日本の未来に責任を!! 比例も自民党



自民党公認

はせ浩

ひろし

51歳

プロフィール

1961年5月5日生まれ

■学歴
千坂小学校・鳴和中学校・星稜高等学校・専修大学卒

■職歴
星稜高等学校教諭、ロス五輪出場、プロレスラー、文部科学副大臣、党文部科学部会長、現・衆院青少年特委筆頭理事

詳しくは⇒

初当選以来20本の議員立法を成立

放射能汚染がれき処理法
この法律がなければ汚染がれきの処理ができなかった。

スポーツ基本法
ナショナルトレーニングセンターが整備され、選手強化・メダルラッシュにつながった。

障害者虐待防止法
公明党の先生方と一緒に、障害者の虐待を禁止する法律を成立させる。

子ども子育て支援法
幼稚園、保育所が守られ、認定こども園の拡充が決まる。

- その他、成立させた法律
- 児童虐待防止改正法
 - 子ども子育て関連法整備法
 - スポーツ振興くじ法
 - 学校図書館改正法
 - ダイオキシン対策法
 - 土壌汚染防止法
 - 総合法律支援法
 - PTA共済法
 - 高齢者虐待防止法
 - 発達障害者支援法
 - 認定こども園改正法
 - 性同一性障害者特別法
 - 青少年ネット規制法
 - 動物愛護法
 - 海外美術品公開促進法
 - 違法ダウンロード防止法

一票は
想いのこもった
メッセージ

投票日は12月16日(日) 投票時間は午前7時から午後8時まで

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは市選挙管理委員会までお問い合わせください。

平成 24 年 12 月 16 日 執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

③

石川県第一区
石川県選挙管理委員会

石原代表、
橋下代表代行と共に
「憂国愛郷」の志

今こそ、 維新を。

若さと
志がある
31歳。



日本維新の会公認

こまい俊輔

しゅんすけ

31歳

プロフィール

昭和 56 年 7 月 25 日 生まれ 31 歳
金沢市長町に生まれる
金沢市立中央小学校、金大附属中
学校、金大附属高等学校、東京大
学法学部政治コース卒業。大学時
代は漕艇部に所属。マッキンゼー・
アンド・カンパニー（経営コンサル
ティング会社）、株式会社企業再生
支援機構（政府系企業再生ファンド）。再生担当役員として北陸最大の
レジャー施設・芝政ワールドの
早期再生を果たした。趣味は仕事。

こまい八策

いまの政治に必要なのは、
問題の解決能力だと思う。

1. 統治機構のつくりなおし

決められない政治から、
決めていく政治へ。

国民の信託を受けて決断するのが政治。ところが、「決められない政治」でも給料が出る政治家。それが政治家個人のせいではなく、仕組みのせいだとしても、その仕組みを直す責任はやはり政治家である。

2. 行財政改革

志は大きく、政府は小さく。

財政再建のためにはまず歳出削減。そうではなくて、まず増税を行ったことは、穴の空いたバケツに水を注ぐようなもの。

3. 公務員制度改革

民間の専門家を国家機関へ。
役人の待遇を民間の水準へ。

諸分野における専門性・多様性の高まりの中で、官僚が一番優秀で物事を知っているという中央集権体制の大前提が崩れている。民間の専門家を官庁に積極的に採用し、また役人の待遇は民間水準であるべきだ。

4. 教育改革

資源が少ない日本で、いちばんの資源は
「日本人の智恵」だと思う。

資源に乏しい日本。官民を問わず、人間の知恵と汗とで経済を成り立たせるしかない。その生き残りにおいて人間への投資である教育は生命線。

5. 社会保障制度改革

私たちは「逃げ切れない世代」じゃない。
「立ち向かう世代」なんだ。

受益と負担のバランスについて、私たちは「逃げ切れない世代」と言われているが、逃げるつもりはない。いずれ「立ち向かった世代」と呼ばれるようにしたい。

6. 経済・雇用・税制

競争力を身につけるいちばんの方法は、
競争することだと思う。

競争力を獲得する重要な手段は、競争することである。政府は民間における競争する意欲を損ねないような雇用・税制を組み立てねばならない。

7. 外交・防衛

自分を守ることができなければ、
他人に力を貸すことなんて
できないと思う。

外交安全保障も賢く強く！あくまで法と正義に則って毅然とした国家を目指す。

8. 憲法改正

ルールを変えることができる
ルールに変えていく。

まずは憲法を改正できる憲法にするために改正発議要件（96条）を改正する。

いま抱えている問題は、いまの世代で解決する。

比例代表も「日本維新の会」へ

詳しくは

こまい俊輔

検索

HP

<http://www.komaishunsuke.jp>

一票は
想いのこもった
メッセージ

投票日は12月16日(日) 投票時間は午前7時から午後8時まで

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは市選挙管理委員会までお問い合わせください。

平成 24 年 12 月 16 日 執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

④

石川県第一区

石川県選挙管理委員会



奥田

おく

だ

建

けん

民主党公認

今回の衆院選は政治をさらに前に進めるのか、あるいは古い政治に戻るのかを決める選挙です。何より生活者が幸せになる政策の実現へ。課題を先送りせず、決断する政治の実現へ。明日への責任を果たすために全力を尽くします。あなたの力を貸してください。

新児童手当（旧子ども手当）、高校無償化、農業の戸別所得補償、一六五〇万円の年金記録の回復、金融円滑化法による中小企業支援など、政権交代後、私たちは多くの成果を上げてきました。

もちろん、いまだ着手できていない施策もあり、改革は道半ばです。しかし、ムダづかいを一掃し、税金を子育て・教育、年金・医療など、国民の暮らしと日本の未来のために集中的に使うという理念は決してぶれることはありません。

国土交通副大臣として、 地元の要望にしっかり応えました。

政府として北陸新幹線金沢-敦賀間の工事認可を決定し、その要として働きました。

金沢外環状道路海側幹線（大河端町-福久町間）の新規事業化を認可しました。

国土交通省として、金沢港等を国が重点支援する「日本海側拠点港」に選定しました。

持続可能な社会を目指して 明日への責任。



Ken Okuda's promise 奥田建が掲げる 6つのお約束

1 日本経済の足腰を強くします!

事業承継税制や融資のあり方など中小企業政策に取り組み続けます。新たな成長分野に力を注ぐとともに農林漁業の6次産業化を後押しします。

2 安心の社会福祉制度を実現します!

出産費用の自己負担ゼロなど子育て・教育環境の向上を図り、公的年金制度の一元化など安定した医療・年金・介護制度をつくります。

3 原発ゼロ目指し、グリーン革命を推進!

2030年代の原発稼働ゼロを可能とするため、再生可能エネルギー・省エネルギーの普及や技術開発をバックアップします。

4 ムダ遣いをさらに減らします!

事業仕分けを発展させた「行政事業レビュー」の実施や議員定数の削減など、政治・行政のムダ遣いをなくす取り組みをさらに進めます。

5 震災からの復興、防災力の強化を加速!

被災地に寄り添いながら復旧・復興策を推進すると同時に、事業継続計画（BCP）の作成や防災協定の促進など、ソフトとハードの施策により、地域防災力を強化します。

6 真の主権国家へ、外交を強化します!

海上保安庁を中心に警備体制を拡充・強化し、領土・領海の守りに万全を期します。我が国の主権に関する立場を積極的に対外発信していきます。

プロフィール

1959年1月16日、金沢市生まれ。城南中学校、金沢泉丘高校、日本大学理工学部卒。建設会社勤務、コンピューターソフト会社代表を経て、1998年の衆議院選挙以来、当選4回。決算行政監視、環境、災害対策委員会の筆頭理事をはじめ、経済産業、行革、議院運営委員などを歴任。政権交代後は総務委員会理事、安全保障委員長、法務委員長、国土交通副大臣を経て、国土交通委員会筆頭理事。現在は党政策調査会副会長。母、妻、長男と共に金沢市笠舞に在住。

一票は
想いのこもった
メッセージ

投票日は12月16日(日) 投票時間は午前7時から午後8時まで

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは市選挙管理委員会までお問い合わせください。

平成 24 年 12 月 16 日 執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

⑤

石川県第一区

石川県選挙管理委員会

日本未来の党

くまの もりお

四十二歳



プロフィール

1970年一月十日。石川県輪島市生まれ

石川県立金沢泉丘高校卒業

国立信州大学人文学部社会心理学科卒業

会社勤務を経て

1998年金沢市近江町市場内にて、

ライブ喫茶メロメロポッチオープン

希望の未来へ！

即・卒原発。

みんなで声を響かせて、未来を変えよう！

私は脱原発をライフワークとして、志を同じくする仲間とともに、アースデイやピースウォークなど地球環境や平和のための活動に長く取り組んできました。

福島原発の事故をうけて、宇宙支援隊を立ち上げ被災地支援にとりくむ中で、

多くの被災者やボランティアに出会い、政治がなすべきことをしていない現実を再認識しました。

「原発は必要ない」、「子どもたちの笑顔を取り戻したい」というみんなの思いを、国政の場で訴えたい。

そう願っていたとき、「誰もが希望のもてる未来を目指す」という日本未来の党の理念に出会いました。

私が目指すものは、子どもが安心して暮らせる国、日本。4人の子どもの父親として、絶対に譲れません。

福島原発事故は、大量の放射性物質を大気や水中にばらまき、地球を汚染しました。

この重い責任を感じることもなく、原子力政策を維持・推進することは、

人間の品格はもちろん、国としての品格を失う、倫理的に許されないことです。

私たちは直下に活断層が走る志賀原発をかかえています。

25年前の建設当時から活断層の存在が指摘されていたのに、無視されてきたのです。

それに抗議し、すぐに志賀原発を含むすべての原発から撤退するように国に求めていかなければ、これからの未来を生きるあらゆるいのちに申し訳がたちません。

誰かが立ち上がらなければ、新しい政治をつくるこの絶好の機会が失われてしまいます。

ふるさとを失った福島を忘れてはいけません。同じ日本に生きる私たちの責任です。

希望の未来へ歩き始めた私の決意を、みなさまが受け止めてくださると信じています。

1. 即・卒原発
2. 再生可能エネルギープロジェクトの推進
3. 消費税増税ストップ
4. 特別会計のスリム化
5. 天下りの禁止、歳費削減
6. 路地裏のカルチャー政策

一票は
想いのこもった
メッセージ

投票日は**12月16日(日)** 投票時間は午前**7時**から午後**8時**まで

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは市選挙管理委員会までお問い合わせください。